

関西医科大学附属病院分教室

令和6年度 月別在籍児童・生徒数一覧

各月の延べ人数

学部	学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学部	1												
	2			1	1		1	1	1	1	2	2	2
	3						1	1	1	1	1	1	1
	4							1	1	1	2	3	3
	5						1	1	1	1	1	1	1
	6												
	小計			1	1		3	4	4	4	4	6	7
中学部	1	1	2	2	1	1	2	2	2				
	2		1	1									1
	3	1	1	1	1	1	1	1	1				
	小計	2	4	4	2	2	3	3	3				1
合計		2	4	5	3	2	6	7	7	4	6	7	8

3月のみ1日付け人数

令和6年度 疾患分類別児童・生徒数

全病連による疾患分類表より(延べ人数)													
疾患分類	学部・学年	小学部						中学部			計		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3			
結核など感染症													
腫瘍など新生物				1	1			2		1			5
貧血など血液疾患			2		2	1			1				6
糖尿病など内分泌疾患													
心身症など行動障がい													
筋ジスなど神経系疾患													
眼・耳・鼻疾患													
リウマチ性心疾患など循環器系の疾患													
喘息など呼吸器系の疾患													
潰瘍など消化器系の疾患								1					1
アトピー性皮膚炎など皮膚疾患													
ペルテス病など筋・骨格系疾患													
腎炎など腎臓疾患													
二分脊椎など先天性疾患													
骨折など損傷													
虚弱・肥満など													
重度・重複など													
その他									1	1			2
計			1	1	1	1		4	1	1			14

## 関西医科大学附属病院分教室

## 令和6年度 児童・生徒出身地域表

		小学部	中学部	計	備考
大阪府	枚方市		5	5	
	寝屋川市	1		1	
	東大阪市				
	大東市				
	高槻市	3	1	4	
	岸和田市				
	大阪市		1	1	
	茨木市	1		1	
	四條畷市	1		1	
京都府	八幡市	1		1	
計		7	7	14	

小学部1学級、中学部1学級の認定、教員5名の配置となった。数学、国語は非常勤講師、英語は関西医大総合医療センター分教室の教員、体育は精神医療センター分教室の教員が授業を実践した。技術については、免許外申請を行うことで、授業を実践した。今年度は、当初予定されていた他部署への出張を行った。年度途中は在籍数の増加により部署の教員数では授業の設定が困難となることがあった。他部署への応援要請を行っていたが、教科授業においてかたよりが生じ、小中合同授業を実施せざるを得ないことも多かった。その後体制の変更を行い、できる限り部署内で授業をできるようにしていった。

児童・生徒の疾患は多岐にわたり、入院期間も数週間～1年以上と幅広くなっている。特に腫瘍や白血病の治療は入院が長期になり、感染症対策のために面会制限などもあるなどストレスも多い。また外出制限のある児童・生徒が多いが、オンラインツアーを始めとした芸術鑑賞会、動物園見学、水族館見学、工場見学などに加え看護学生の職業講話等のキャリア教育など、様々な経験を得られる場を設けることができた。

学習は個々に応じた学習内容を可能な限り設定している。病棟からの指示などによっては、ベッドサイド授業を設定し、授業時間の確保を行っている。教室で複数児童・生徒が点滴を受けての授業となった際は、学習空間の安全の確保を工夫した。

地域校の連携は、従来のものに加えてオンラインを用いた交流や行事参加が増えてきている。地域校の学級とオンラインでつないで交流したり、体育祭の様子をオンラインでつないでいただいて見学したりした。小中学部ともに、タブレット端末への教材の配信があり、オンラインを用いての課題提出を行った。実技教科では、作品だけでなく取組みの様子を録音し、提出することで評価につながるようにも取り組んだ。今後も継続して地域校との連携や復学に向けての活用を進めていきたい。